



ホームカミングデーを開催しました

第1回新潟大学同窓生保健師交流会に30名が参加しました！

平成28年6月25日(土)、本学看護学専攻を卒業し、保健師として新潟県内を中心として活躍している1期生から13期生までの卒業生30名が集まり、同窓生保健師交流会(ホームカミングデー)を開催しました。なお、本事業は新潟大学「地(知)の拠点 大学による地方創生推進事業(COC+)」社会人の学び直し推進事業の一環として実施しました。

1. 目的 新潟大学卒業生である保健師就業者を対象に、卒業生同士や教員との情報交換をとおして、ネットワークの形成を図り交流を促進する。また大学院進学に関する情報提供を行う。
2. 日時 平成28年6月25日(土) 10:30~14:00
3. 場所 新潟大学医学部保健学科

4. プログラム

	プログラム
1	開会、開催趣旨説明
2	自己紹介、近況報告
昼食	
3	熊本地震被災地支援活動報告 新潟県佐渡保健所 今村円香 保健師
4	大学院修了生による研究紹介 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課 山田知佳 主任
5	大学院保健学研究科地域看護 CNS 課程の紹介 新潟大学大学院保健学研究科 小林恵子 教授
6	閉会、解散、個別相談(希望者)

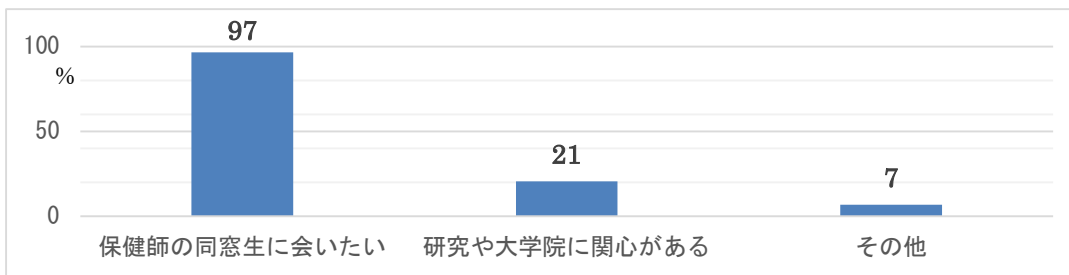
5. 参加者

新潟県内 28名(県4名,市町村22名,その他2名)
新潟県外 2名



6. アンケート結果（一部抜粋）

1) 参加動機（複数回答）



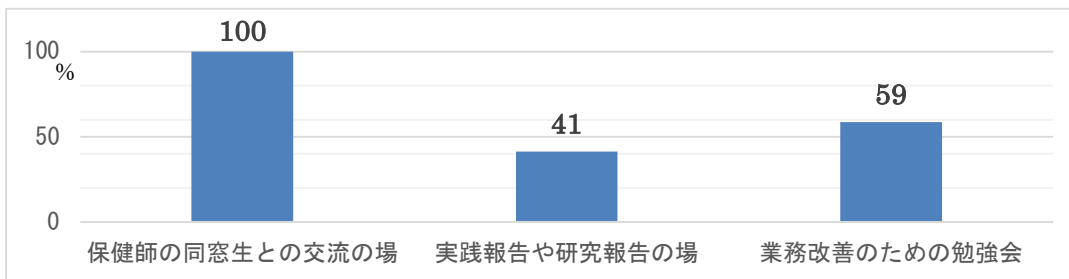
2) 参加しての感想

項目	%
とてもよかった	55
よかった	41
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	4

3) 大学院進学について

項目	%
すぐにでも進学したい	0
条件が整ったら進学したい	28
あまり考えていない	62
全く考えていない	7
無回答	3

4) 今後の企画への希望（複数回答）



5) 大学に期待するサポート（自由記載，一部抜粋）

- ・ 保健師としての自己啓発や大学院進学についての相談
- ・ 事業の枠組み、評価等の相談
- ・ 保健師の人材育成
- ・ 研究、研究発表会への協力

6) 感想（自由記載，一部抜粋）

- ・ 先生方の話を聞いて、原点に戻ってきたような安心感があり、本当に参加して良かったです。
- ・ こういう機会が横のつながりが広がっていけるとよいと思ったので、機会があればまた参加したいと思います。
- ・ 他の市町村で働く方のお話を聞いて、「自分もまた頑張ろう」「みんなも頑張っている」という気持ちになりました。
- ・ 4月から新社会人になり、毎日分からないことだらけの日々でしたが、大学に同期や同窓生が集まる場があると知り、今日まで頑張ってきました。
- ・ 大学院についてもゆくゆくは CNS になりたいと思っていたので、詳しくお話が聞けて良かったです。

7. 参加者の声

「久しぶりの母校」

新潟市北区役所健康福祉課 羽田野優美 保健師（2期生）

母校に久しぶりに足を踏み入れ、なつかしさと同時に、自分の卒業後にたくさんの後輩たちが保健師として活躍している姿を垣間見ることができました。開催したい旨の話をいただいた時は嬉しさと同時に、どんなメンバーか心配な気持ちもありましたが、同僚からの返事は「参加」が多く、当日を楽しみに待つことができました。

いま働いている現場でも先生方には研修の講師や共同研究などお世話になっていることが多いですが、研究発表等からも地域に活用できる資源がまだまだあること、先生方が意欲的に地域に出向いてくださっていることなどを知り、この機会ですさらに大学が身近に感じることができたように思います。

今回は同年代の仲間との会話で終わってしまいましたが、せっかくの機会なので座談できることも期待し、次回開催を楽しみにしています。ありがとうございました。

「ホームカミングデーに参加して」

南魚沼市役所福祉保健部保健課 廣田麻有 保健師（13期生）

新潟大学を卒業した保健師が集まるホームカミングデーに参加させていただきました。この3月に卒業して以来、同期の仲間と会う機会がなかったため、久々に話すことができとても嬉しかったです。入職してからの3か月間は、初めてのことばかりで戸惑いや失敗などもありましたが、同じようなことで悩み、努力していることがわかって安心できました。

また、昨年の実習でお世話になった保健師さんや隣の市に勤める保健師さんとお話しすることができ、とても充実した時間を過ごせたと思います。たくさんの先輩保健師さんとお話しすることはできませんでしたが、日々の業務や被災地支援、大学院での研究についてのお話を聞くことができ、とても勉強になりました。そして、先輩のような保健師になれるように精一杯努力していきたいと感じました。

このような機会がまたあれば、今回参加できなかった仲間も誘って、ぜひ参加させていただきたいと思います。



8. 教員からのメッセージ

「ホームカミングデーを開催して」

新潟大学大学院保健学研究科 小林恵子 教授

約10年間、新潟県内の新任保健師の研修を担当しておりますが、新潟大学の卒業生が一人で奮闘している姿を拝見し、大学の教員として何かサポートすることができないかと模索しておりました。そのような思いを身近にいる卒業生に伝え、**「卒業後に学び直しをしたい」、「保健師の活動について相談に乗ってほしい」という答えが返ってきました。**また、指導的立場の保健師さんからも**「現場ではなかなか系統的な現任教育ができにくい」という声をいただいたこと**で、一層、大学ができるサポートがないかという思いを強くしておりました。

長年の夢が叶った記念すべき1回目は予想以上に多くの方が参加してくださり、同窓生のパワーを感じることができた夢のような時間でした。今後の企画は是非、当事者である卒業生にも参加していただき、より、皆さんのニーズに合う内容の会にしていきたいと考えております。

このような交流と学習の会を大事に育てながら、いずれは学部教育と現任教育を連結できるようにすることが私の夢です。併せて、皆さんには地域看護 CNS や研究を学べる大学院進学もぜひ検討していただきたいと思います。大学院で学んだ専門的、論理的な思考が実践現場での仕事を一層輝かせることになると信じています。

また、これを機会に、私たち教員を活動の相談相手としてご活用していただければ幸いです。

皆さんのご活躍を期待しております。

～事務局からのお知らせ～

・ご所属、連絡先情報の変更について

異動等によりご所属や連絡先に変更がございましたら、変更後のご所属や連絡先情報を事務局までメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。

・同窓生保健師の皆様への周知について

保健師として勤務されている同窓生へのご連絡は、卒業時の勤務先情報や同窓生からの周知により情報を把握しご連絡を差し上げています。お近くに同窓生がいらっしゃいましたら、本会の周知と事務局へのご連絡をお声がけいただけますようお願いいたします。

新潟大学大学院保健学研究科
同窓生保健師交流会 事務局
〒951-8518 新潟市中央区旭町通 2-746
新潟大学医学部保健学科内 成田研究室
Tel/Fax : 025 (227) 0944
Mail : chiiki@clg.niigata-u.ac.jp

